

## 第3回 東京都北区障害者雇用推進委員会作業部会 次第

(日時) 令和3年9月29日(水)

午前10時00分

(場所) 書面開催

### 1 開会

### 2 議題

① サポート体制の整備について 資料1

② 精神・発達障害者しごとサポーターの養成及び職員研修について 資料2

### 3 その他

(1) 次回開催日程について 11月中旬頃

(2) 次回議題 ①職員研修について  
②委員会報告資料について

### 4 閉会

#### <資料>

資料1 情報共有・情報伝達方法の方向性について(修正案)

資料2 「精神・発達障害者しごとサポーターの養成」及び「職員研修」について

#### <参考>

障害者活躍推進に向けた研修の充実に関するアンケート調査について(依頼)

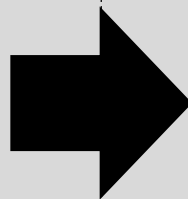
## 修正前

### 方法

障害があることを周囲に公言していない職員がいることも踏まえ、時間・場所にとらわれない電子メールでの情報伝達方法を活用する。

### 方向性

- サポート体制として対応していくため、原則、ステークホルダーの個人メールアドレスでの相談の受付は行わない。
- 秘匿性の高い情報を扱うため、連絡用・共有用として支援者・相談員・保健師が利用できる専用メールアドレスを作成する。
- 毎年ログインパスワードを変更することによって、ステークホルダーが変わった場合に秘匿性を保つ。
- 支援者は、職場の障害がある職員に専用メールアドレスを周知する。
- 職場内で障害がある職員が孤立してしまった時のホットラインとして、相談員・保健師の専用メールアドレスを障害がある職員へ周知する。
- 情報伝達に遅れが出ないように、ステークホルダーは専用メールアドレスに少なくとも一日一回はログインする。



## 修正案

### 方法

障害があることを周囲に公言していない職員がいることを踏まえ、時間・場所にとらわれない電子メールでの情報伝達方法を基本とする。（ガイドラインにおいて推奨する方法）

ただし、障害により文章ではうまく伝えられない場合があることも踏まえ、支援者等において状況に応じた対応（電話や対面等）を求めることとする。

### 方向性

専用メールアドレスの設置は、情報管理面や運用面での課題が大きいため、サポート体制運用当初は、個人メールアドレスを活用（自動転送やフィルタリング機能等）することで対応することとする。

なお、ステークホルダーは、人事異動等で別の部署に異動した場合でも、その障害がある職員が望む執務環境が引き継がれるよう必ず相談記録を残すこととする。

## 精神・発達障害者しごとサポーターの養成

### ❖ 前回までの了承事項

- **障害がある職員が在籍する職場（係単位）に少なくとも一人は配置**できるように養成する。
- 職場の啓発者という役割から、**主任以下の職員**とする。
- 精神障害・発達障害がある職員が在籍する職場から優先的に講座受講できるようにする。

### ～ 養成講座受講方針 ～

服務取扱 : 研修  
 対象 : 主任以下の職員  
 研修の種類 : 職層研修（現任Ⅲ（採用４年目）又は主任候補者研修）  
 受講形式 : 集合研修（労働局講師が出向く出前講座もあり）  
 実施時間 : 90分～120分程度  
 講義内容 : 精神障害、発達障害についての基礎知識や一緒に働く上で必要な配慮、サポーターの役割など  
 講師 : ハローワークの精神障害者雇用トータルサポーター等  
 費用 : 労働局主催のサポーター養成講座は無償

### 課題

受講対象を採用４年目又は新任の主任に指定するため、その他の主任以下の職員に対して、別途サポーターの役割等について周知・啓発を図る必要。

## 職員研修

### ❖ 現 状

障害の理解促進に関する研修の取組みとしては、新任研修（前期）と係長候補者研修において「障害者差別解消法」に関する講義を障害福祉課長を講師に招いて実施している。

### ～ 研修形態 ～

対象 : 新規採用者・係長候補者  
 研修の種類 : 新任研修オリエンテーション・係長候補者研修  
 受講形式 : 集合研修  
 実施時間 : 30分程度  
 研修内容 : 障害及び障害者差別解消法等に関する法律の理解促進、合理的配慮について  
 講師 : 障害福祉課長  
 費用 : 内部講師のため無償

### 課題

- 現行の障害の理解促進に関する研修は、障害者雇用促進法の改正を踏まえた内容とはなっていない。
- 現行の障害の理解促進に関する研修は、障害全般の話であり、職員の指導・相談など職員への対応に焦点を当てた内容とはなっていない。

## 今後の研修方針

- 障害者雇用促進法の改正を踏まえた研修の実施に向け、障害がある職員に対して研修内容の充実に関するアンケート調査を実施するとともに、具体的な研修の内容については、次年度以降職員課で検討を行っていく。
- 支援者や相談員等の支援となる研修について、次年度以降職員課で検討を行っていく。
- SAKURA PRIDE 通信にて、全庁向けの障害者活躍推進、サポーターに関する啓発を行い、人材育成の観点から障害がある職員の活躍推進に向けた環境の整備を図っていく。



3 北総職第 号  
令和 3 年 月 日

所 属  
氏 名

総務部職員課長 加藤 富男  
(公印省略)

北区障害者活躍推進に向けた研修の充実に関するアンケート調査について（依頼）

北区障害者活躍推進計画（令和3年2月策定）に基づき、障害がある職員が現状の職場環境に関して抱いているニーズを職員課が把握し、研修計画に活かすことにより、研修の面から職場環境の改善を実現するため、下記のとおりアンケートを実施いたしますのでご協力をお願いいたします。

#### 記

#### 1 アンケート方法

(1) 無記名回答とする。

(2) 原則、庁内ポータルでのアンケート機能を使用。データでの回答が難しい場合は、紙での回答も可とする。

※紙での回答を希望される方は、職員課人事係までメール又は電話にてお問合せください。窓口又は交換便にて調査票（紙媒体）を配付いたしますので、人事係までご提出ください。回答の期限は10月22日（金）までとさせていただきます。

#### 【問い合わせ先】

担当：職員課人事係 櫻井

内線：2241

直通：3908-8039

メール：[kensyu@city.kita.lg.jp](mailto:kensyu@city.kita.lg.jp)

#### 2 アンケート期間

**令和3年10月1日（金）から10月22日（金）**

※期限が短くて大変申し訳ございません。

#### 3 その他

本依頼は、業務命令として回答を求めるものではありません。

問い合わせ先

職員課人事係 櫻井

内線：2241

直通：3908-8039

## 障害者活躍推進に向けた研修の充実に関するアンケート調査

(はじめに)

- ・みなさまの働きやすい環境を作り、今後の定着の支援のための調査となりますので、ご協力ください。
- ・調査結果につきましては、今後の研修運営に活用いたします。

(記入上の注意)

- ・問2、問8は複数回答可。それぞれ、チェックした項目に関して対応する問いにもご回答ください。
- 問3～問6、問9～問12については、思いつくものがなければ回答不要です。

問1 今後、受講してみたいと思う研修や学びたいと思っている知識等がありますか。(既に区で実施しているかどうかは問いません。)

- ある → 問2へ                       ない → 問7へ

問2 受講したい研修の項目に☑チェックを付けてください。(複数回答可)

- 1 キャリア開発に関する研修(例:キャリア形成等) → 問3へ
- 2 能力開発に関する研修(例:コミュニケーション力向上等) → 問4へ
- 3 接遇等、区民対応に関する研修 → 問5へ
- 4 その他 → 問6へ

問3 問2の回答について、1を選択した方へ。研修のイメージや内容があれば教えてください。  
(例:昇任や昇給などの制度について、学べるような研修。)

( )

問4 問2の回答について、2を選択した方へ。研修のイメージや内容があれば教えてください。  
(例:仕事等の悩みや困りごとを解決し、円滑に業務を進めるための周囲とのコミュニケーションの取り方などを学ぶことができる研修。)

( )

問5 問2の回答について、3を選択した方へ。研修のイメージや内容があれば教えてください。  
(例:話しがよく聞きとれない場合等、電話や窓口対応において困っていることへの対処を学ぶ研修。)

( )

問6 問2の回答について、4を選択した方へ。研修のイメージや内容があれば教えてください。  
(例:障害がある職員同士で仕事における悩みなどの情報共有ができる場。)

( )

問7 今後、自身も含め北区の職員向けに新たに実施してほしい研修はありますか。

- ある → 問8へ                       ない → 問13へ

問8 北区の職員向けに実施してほしい研修の項目に☑チェックを付けてください。(複数回答可)

- 1 障害特性の理解に関する研修 → 問9へ
- 2 障害者雇用に関連する法令等の理解に関する研修 → 問10へ
- 3 相談を受ける職員の相談者としての資質の向上に関する研修 → 問11へ
- 4 その他 → 問12へ

問9 問8の回答について、1を選択した方へ。研修のイメージや内容があれば教えてください。

(例:外見からはわからない障害がある職員が、どういったことに働きにくさを感じているかなどを共有する研修。)

( )

## 障害者活躍推進に向けた研修の充実に関するアンケート調査

問10 問8の回答について、2を選択した方へ。研修のイメージや内容があれば教えてください。

(例：職員向けに障害者雇用促進等に関連する法令等をわかりやすく説明してほしい。)

( )

問11 問8の回答について、3を選択した方へ。研修のイメージや内容があれば教えてください。

(例：ハラスメント研修、特に障害理解をしっかりと盛り込んだもの。)

( )

問12 問8の回答について、4を選択した方へ。研修のイメージや内容があれば教えてください。

(例：障害がある職員、障害が無い職員の相互理解のために自然に交流できる場の設置。)

( )

問13 その他に要望等がありましたら記載ください。

( )

アンケートは以上となります。ご協力ありがとうございました。